



竹 原 市

Press Release

「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」

平成 27 年 9 月 29 日

たけはら美術館特別展 “没後 50 年池田勇人展—日本を変えた男—” を開催します

戦後 70 年、第二次世界大戦の敗戦からわずか 20 年余りで世界第 2 位の経済大国になった日本。日本国民の能力を信じ、「所得倍增計画」で国民に夢と希望を与え、世界史上、類を見ないスピードで高度経済成長を成し遂げたその復活劇は、世界から「奇跡」と称賛されました。

今から 50 年前、奇跡の経済成長を見届け、日本の行く末を案じながら静かに息を引き取った男、池田勇人。本特別展は、没後 50 年の節目に、彼が残した言葉に焦点をあて、政治信念・功績・人柄など池田勇人の人生の足跡を辿ります。

【概要】

- 1 期間 平成 27 年 10 月 24 日（土）～12 月 23 日（水）
午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
※10/24 は午後 1 時から

- 2 場所 たけはら美術館（竹原市中央五丁目 6-28）

- 3 展示内容

池田勇人が残した言葉に焦点をあて、幼少期・学生時代・官僚時代・大臣時代・総理大臣時代のそれぞれの思い・信念・行動をパネルでご紹介します。

また、初展示となる「池田勇人を総理大臣にすることを目的とした宏池会の設立趣意書」、「ケネディ大統領のメッセージ入りの日米首脳会談の写真」、「交遊のあった政治家吉田茂・大平正芳ゆかりの品々」など政治家池田勇人を物語る展示を行います。

- 4 入館料

一般 500（400）円、高大生 300（240）円、中学生以下・75 歳以上無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金、J A F 会員



問い合わせ先

たけはら美術館

☐電 話 (0846) 22-3558

☐F A X (0846) 22-3558

☐担当者 木村 高橋

日本を変えた男

The man who changed Japan

たけはら美術館特別展
没後50年
池田勇人展

男

平成27年10月24日(土)～12月23日(水) 会期中無休

開館時間:午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
10月24日は午後1時から開場

入館料:一般500(400)円、高大生300(240)円

- ()内は20名以上の団体料金・JAF会員
- 中学生以下・75歳以上無料
(年齢確認の出来るものをご提示ください)

主催:竹原市・竹原市教育委員会
後援:竹原市文化団体連盟/竹原市美術協会/中国新聞社/NHK広島放送局/中国放送/広島テレビ/広島ホームテレビ/テレビ新広島/
広島エフエム放送/FMちゅーピー 76.6MHz/エフエムふくやま/尾道エフエム放送/FMはつかいち 76.1MHz
企画協力:株式会社たけはらケーブルネットワーク/株式会社乃村工藝社

たけはら美術館

〒725-0026
広島県竹原市中央五丁目6-28
TEL/FAX 0846-22-3558
<http://www.city.takehara.lg.jp/>

日本を変えた男

たけはら美術館特別展 没後50年 池田勇人展



竹原市出身の池田勇人は第58～60代内閣総理大臣に就任し、経済で国民を救う「^{けいこくさいみん}経国済民」を政治姿勢に、所得倍増計画を政策の中心に掲げ、勤勉で優秀な日本国民に希望と自信を与え、国民のやる気を引き出しながら、高度経済成長を成し遂げました。この経済成長により、日本は東京オリンピックに象徴されるように『世界の日本』として認められようになったのです。この偉業を成し遂げた池田の政治手腕は高く評価されています。

池田勇人没後50年目の節目の今年、池田が残した言葉に焦点をあて、彼の政治信念・功績・人柄を紹介し、池田の愛用品やコレクションにより彼の人生の足跡を辿ります。

池田勇人が残した言葉

「日本と外国の橋渡しになる」 -幼少期-

明治32年、広島県豊田郡吉名村(現広島県竹原市吉名町)の旧家・池田家の七人目の末っ子として生まれた勇人。父の「国のためになる人間になってほしい」という願いのもと、勇人はのびのびと成長します。母に「将来何になるつもりか」と聞かれ、「日本と外国の橋渡しになる」と答えました。小さな体にすでに大きな志が宿っていたのです。



幼少期(家族写真-右から3番目が勇人)

「俺は一度死んできた。怖いものは何もない」 -官僚時代-

大蔵省に就職した池田は、伯爵家の娘直子と結婚します。しかし大病で職を失い、さらに愛妻も亡くし、人生に絶望します。しかし家族や後に妻となる大貫満枝は、池田の回復を祈り献身的に看護します。そんな池田に少しずつ回復の兆しが...



大蔵官僚時代

「経済のことは池田にお任せください」 -総理大臣時代-

昭和35年、池田はついに総理大臣の椅子を手に入れます。「経国済民」という政治姿勢を貫き「所得倍増計画」を推し進め、社会保障の拡充・中小企業の近代化などを実行し、“東洋の奇跡”と呼ばれる経済成長を成し遂げます。



総理大臣時代(ケネディ大統領との会談)



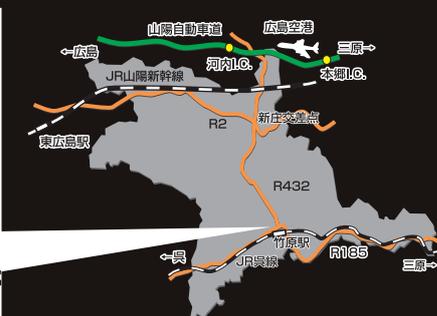
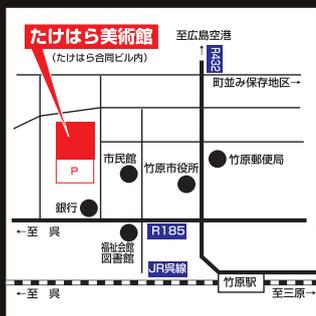
官邸視箱



灰皿・煙草入れ



総理大臣時代(旧友 竹鶴政孝と)



[交通案内]

- ◎JR呉線竹原駅から徒歩5分
- ◎広島バスセンター・JR広島駅から芸陽バスかぐや姫号で約70分
バス停「竹原中央」下車。徒歩1分
- ◎山陽自動車道河内ICから車で20分
- ◎広島空港から車で25分
無料駐車場がございます

〒725-0026
広島県竹原市中央五丁目6-28
TEL/FAX 0846-22-3558
<http://www.city.takehara.lg.jp/>

たけはら美術館